

坂井市水道事業経営戦略～令和7年度中間見直し～（概要版）

第1章 策定の背景

- ・坂井市水道事業では、人口減少や節水機器の普及により水需要は減少し続ける一方で、昭和30～40年代の高度経済成長期に整備した施設の多くが約50年を超過し更新の時期を迎えています。今後は、老朽化が進んだ施設の更新や耐震化に多くの費用が必要となることから、経営は厳しさを増すことが見込まれます。こうした中、将来にわたって健全な経営を維持していくため、令和2年度に経営戦略を策定しました。策定から5年経過したため、中間年度における見直しを行いました。また、中間年度における見直しでは、令和2年度の経営戦略策定時には想定していなかった急激な物価、人件費、金利の上昇を反映させました。
- ・経営戦略は、安全・安心な水を将来に渡り安定的に供給するため、中長期的な経営の基本計画として位置づけられます。
- ・計画期間は、令和3年度から令和12年度の10年間とします。（中間見直しは令和8年度から令和12年度の5年間）

第2章 水道事業の現状と課題

- 有収水量の減少 有収水量は減少を続けています。（R6：1,022万㎡、H22比△12.6% △148万㎡）
 - 資料1・2
- 施設の老朽化 高度経済成長期に整備された多くの施設が老朽化しています。
 - 資料3・4
 - ・管路(延長868km)の約24.6%が法定耐用年数を超過、さらに老朽化が進展
- 施設の耐震化 計画的・段階的な耐震対策の実施に努めます。
 - 資料5・6
- 経営の状況 令和6,7年度に段階的な料金改定を行うとともに、経費の削減に努めています。

第3章 将来の需要予測

- ・今後も有収水量の減少は続く見通しです。
 - 令和12年度有収水量見込 1,000万㎡（R6比△2.1% △21万㎡）
 - 資料7

第4章 経営戦略の基本方針

- ・経営戦略は「投資・財政計画」を中心に策定します。
- ・投資計画では、投資の合理化を最大限に図ります。
- ・財政計画では、経営の効率化・健全化に取り組み、投資と財源を均衡させます。

第5章 投資計画

- ・事業の重要度、優先度を考慮し、投資の合理化を図りながら、施設の耐震化等を積極的に進めます。

事業項目	事業費(R8~R12)	内容
浄水施設耐震化事業	32.15 億円	高浄水場の更新
設備更新事業	7.50 億円	各浄水場のポンプ・機械電気設備更新
配水管更新事業	7.50 億円	老朽管の更新
重要給水施設配水管耐震化事業	2.85 億円	重要給水施設管路の更新
導・送水管耐震化事業	1.20 億円	大口径管路の更新
合計	51.20 億円	

・年間予定量 (億円)

	R8	R9	R10	R11	R12
投資額	11.80	14.40	12.40	7.70	4.90

第6章 財政計画

- ・主な財源である水道料金、企業債等や、事業継続のための運営経費、建設改良費など、財政構成のあり方を検討しました。

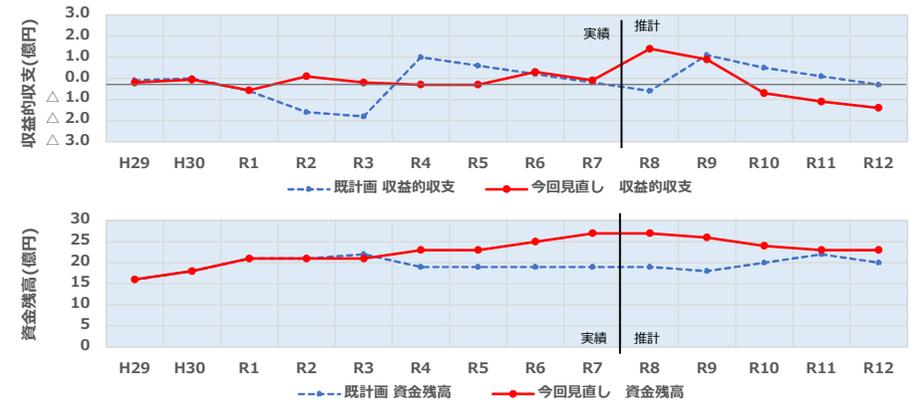
【財源試算 資金残高の推移】

- ・現行の料金体系を維持させる
- ・物価高騰を考慮しつつも、経常経費を限界まで削減させる
- ・建設改良費の財源である国庫補助金を最大限活用する
- ・企業債の借入額は、収益的支出を節減できるよう調整

収益的収支：億円、資金残高：億円

		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
既計画	収益的収支	△ 0.1	0.0	△ 0.6	△ 1.6	△ 1.8	1.0	0.6	0.2	△ 0.2	△ 0.6	1.1	0.5	0.1	△ 0.3
	資金残高	16	18	21	21	22	19	19	19	19	19	18	20	22	20
今回見直し	収益的収支	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.6	0.1	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	0.3	△ 0.1	1.4	0.9	△ 0.7	△ 1.1	△ 1.4
	資金残高	16	18	21	21	21	23	23	25	27	27	26	24	23	23

実績（但し既計画におけるR1,2及び今回計画におけるR7はあくまでも時点の見込み値）
 予測期間



- ・現行の料金体系を維持した場合、令和10年度以降は収益的支出が収益的収入を上回るものの、資金残高を現状維持できる見込みとなりました。

第7章 収入と支出のギャップ解消に向けた取組

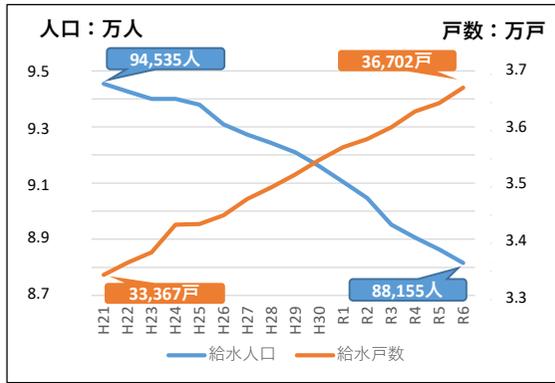
- ・これまででも組織見直しや民間活用等の経営の効率化と健全化に取り組んできました。将来にわたり安定的に事業運営を継続していくために、引き続き、収入と支出のギャップを解消する必要があります。
- ・今後、さらなる運営経費の節減に努め、現行の投資計画に関しても、更なる投資の合理化を図ります。特に現在検討中であるウォーターPPPにより、人的・経済的な面において維持管理の効率化に努めます。
- ・さらに、将来にわたり事業を継続するために、次の取組について検討を進めます。
 - 経営の効率化・健全化 経費節減、料金収納率の維持、人材育成
 - 更なる投資の合理化 投資規模の見直し、管路口径の適正化
 - 財源の確保 資産の有効活用、国庫補助の検討
 - 投資・財源以外の取組 民間資金の活用、AI・DXの利用

第8章 経営戦略の進捗

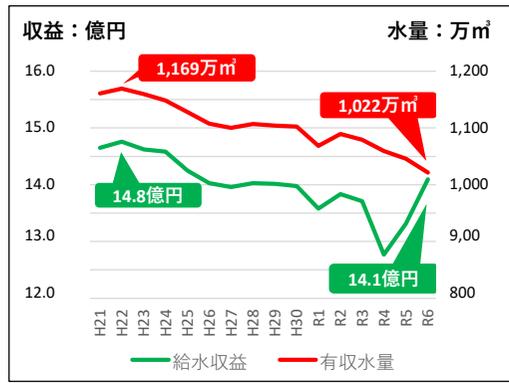
- ・経営戦略の進捗は「計画策定→実施→検証→見直し」のサイクルを活用して管理していきます。
- ・市政広報、ホームページなどを通じ、経営に関する情報を発信します。

第2章 水道事業の現状と課題 関係

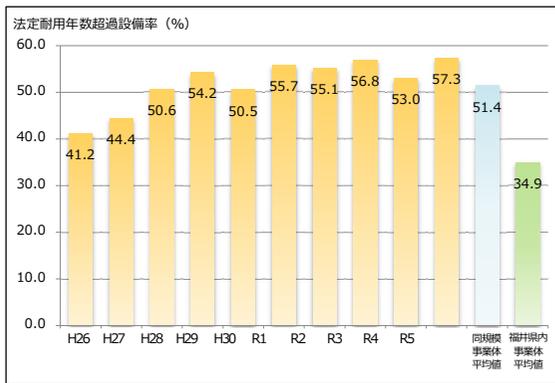
■資料1 給水人口と給水戸数の現状



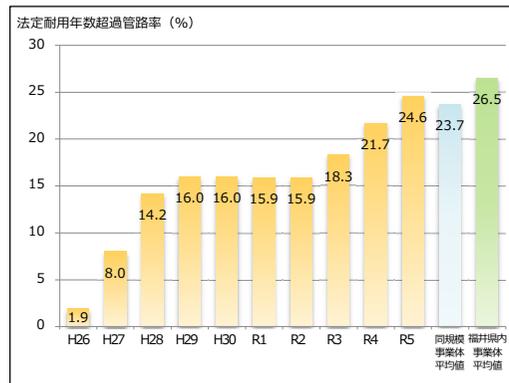
■資料2 給水収益と有収水量の現状



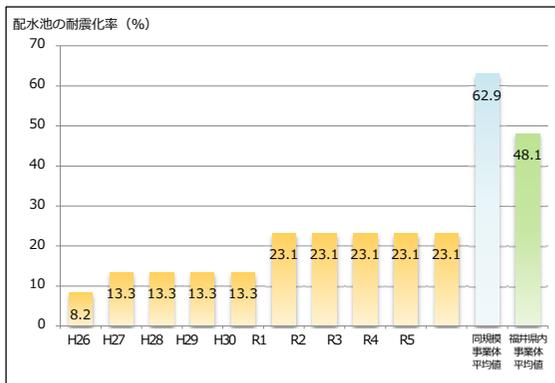
■資料3 施設の法定耐用年数超過の状況



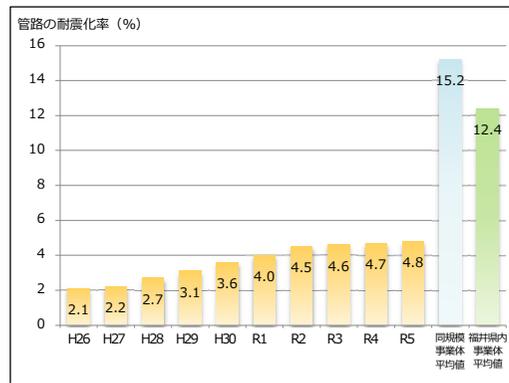
■資料4 管路の法定耐用年数超過の状況



■資料5 施設の耐震化の状況

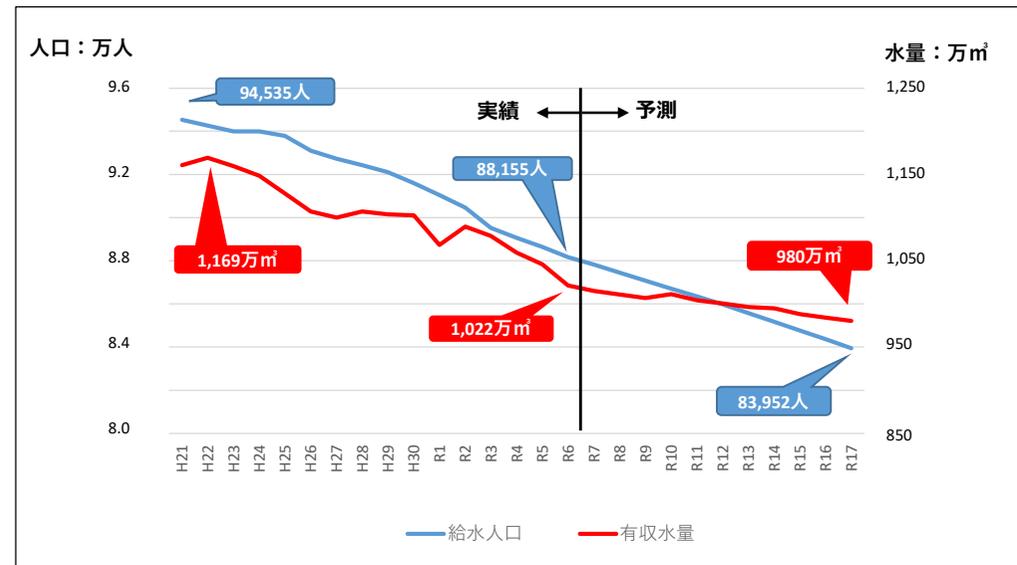


■資料6 管路の耐震化の状況



第3章 将来の需要予測 関係

■資料7 給水人口と有収水量の予測



第6章 財政計画 関係

■資料8 県内市町の料金

口径13mm 10・20m³使用 1か月料金

	10m³ 【高い順】	20m³ 【高い順】
1	大野市 (1,782)	大野市 (3,597)
2	若狭町 (1,705)	南越前町 (3,465)
3	南越前町 (1,485)	若狭町 (3,300)
4	池田町 (1,485)	あわら市 (3,245)
5	あわら市 (1,430)	越前市 (3,124)
6	鯖江市 (1,430)	坂井市 (2,904)
7	越前町 (1,430)	鯖江市 (2,860)
8	勝山市 (1,265)	越前町 (2,860)
9	坂井市 (1,188)	勝山市 (2,585)
10	福井市 (1,177)	小浜市 (2,442)
11	永平寺町 (1,155)	福井市 (2,255)
12	越前市 (1,144)	永平寺町 (2,255)
13	小浜市 (1,122)	敦賀市 (2,222)
14	敦賀市 (1,100)	おおい町 (2,200)
15	おおい町 (1,100)	美浜町 (2,200)
16	美浜町 (1,100)	高浜町 (2,057)
17	高浜町 (1,067)	池田町 (2,035)

■資料9 企業債の状況

